

日本ロービジョン学会学術総会 20times memorial

2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第1回



田淵 昭雄先生



第104回日本眼科学会総会の専門別研究会の形でロービジョン (LV) ケアの学会として開催。学会名を、LVを盲も含む視覚障害と定義し、障害の語句を取るなどの理由から「日本ロービジョン学会」とした。

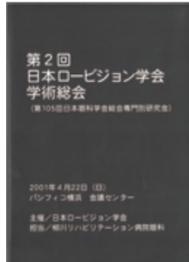
2000年4月9日 開催都市：京都市

- ◆基調講演
「ロービジョンへの眼科医の対応」 講師：丸尾 敏夫
- ◆招待講演
「Rehabilitation of the Visually Impaired Patient」 講師：Jerome A. Catalino, M.D.
- ◆ワークショップ
「21世紀へのロービジョンケア」

第2回



高橋 広先生



第1回学術総会と同様、第105回日本眼科学会総会の専門別研究会として開催。漫画家の赤塚不二夫氏から学会ロゴが進呈され、メインテーマを「視覚障害児・者の生活の質 (QOL) の向上」とした。

2001年4月22日 開催都市：横浜市

- ◆特別講演1
「眼科医療従事者が行うロービジョンケア」 講師：田淵 昭雄
- ◆特別講演2
「点字絵本「よ〜いドン！」の出来るまで」 講師：赤塚 不二夫、森下 清文
- ◆シンポジウム
「視覚障害児・者のQOL」

第3回



山縣 浩先生



本学術総会初の単独開催。特別講演、招待講演、シンポジウムを企画し、イベントとして「患者さんの声」に耳を傾ける会を開催した。

2002年10月13日・14日 開催都市：仙台市

- ◆特別講演Ⅰ
「豊かなコミュニケーションを求めて」 講師：福島 智
- ◆特別講演Ⅱ
「難治性眼疾患に対する治療研究の現状」 講師：中澤 満
- ◆招待講演
「中国特殊教育の現状と未来-視覚障害児教育を中心に-」 講師：張 明
- ◆シンポジウム
「理想のロービジョン・ケア体制を求めて-分野・職種間のバリアについて考えよう-」

第4回



新井 三樹先生



第73回九州眼科学会と合同開催。Evidence based medicineのように、ロービジョンに対しても科学的なアプローチを行い診療に役立てることが大切だと考え、テーマを「ロービジョンを科学する」とした。

2003年5月31日・6月1日 開催都市：福岡市

- ◆特別講演
「Benefits of Research in Low Vision Rehabilitation to Clinical Practice」
講師：Donald C. Fletcher
- ◆シンポジウム
「1.SLOのロービジョンへの応用」「2.網膜投影型ディスプレイのロービジョンへの応用」
「3.VFQ-25による視機能関連QOLの評価」「4.視覚障害者における読書時の固視運動」
「5.人工眼の現況」「6.コントラスト感度と遮光レンズ」
- ◆ロービジョン講習会
「ものを見て分かるということ-視覚の神経心理学-」

第5回



築島 謙次先生



第52回日本臨床視覚電気生理学会と合同開催。両学会が相互に理解を深めることで、機能検査からその対応までを含めて、患者のニーズにこたえる、真に患者主導の医療を目指す合同学会となった。

2004年10月8日～10日 開催都市：東京都

- ◆特別講演Ⅰ
「Beyond the ISCEV Standard:extended electrophysiological techniques in the diagnosis of retinal disease」 講師：Graham E. Holder
- ◆特別講演Ⅱ
「Some aspects of Vision Rehabilitation,Driving and Retina Research」
講師：Aart C. Kooijman
- ◆シンポジウムⅠ
「もう一度基本に戻って」
- ◆シンポジウムⅡ
「ユニバーサルデザインを考える」

日本ロービジョン学会学術総会 20times memorial

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

第6回

第7回

第8回

第9回

第10回

第6回



山縣 祥隆先生

第14回視覚障害リハビリテーション研究発表大会と初めての合同会議を開催。テーマを「連携」とし、視覚リハビリテーションの学際的な研究の進歩を目指し、すべての分野同士の密接な連携の実現を目的とした。



2005年9月17日～19日 開催都市：神戸市

- ◆特別講演Ⅰ
「視覚障害者リハビリテーションにおけるチームプレーの重要性」 講師：築島 謙次
- ◆特別講演Ⅱ
「Reducing the impact of low vision around the world」 講師：Aries Arditi, Ph.D.
- ◆シンポジウムⅠ
「疾患別ロービジョンケア-網膜色素変性・緑内障・糖尿病網膜症-」
- ◆シンポジウムⅡ
「理想のロービジョンケア体制を求めてpart2」
- ◆ワークショップ
「視覚リハ手帳プロジェクト」

第7回



小田 浩一先生

第15回視覚障害リハビリテーション研究発表大会と合同開催。学術プログラムの他、公開市民講座、機器展示、ランチョンセッション、盲学校やロービジョンクリニックの見学などの意欲的な試みを多数行った。



2006年9月16日～18日 開催都市：東京都

- ◆シンポジウムⅠ
「今、視覚障害者の就労の課題は何か？」
- ◆シンポジウムⅡ
「疾患別ロービジョンケアpart2このシンポジウムに期待するもの」
- ◆シンポジウムⅢ
「ロービジョンのQOV評価」

第8回



白木 邦彦先生

第16回視覚障害リハビリテーション研究発表大会と合同開催。テーマを「進歩」とし、合同会議の利点を生かして、両会員の発表が混在する形での一般演題のセッションを行った。



2007年9月22日～24日 開催都市：大阪市

- ◆特別講演
「日本におけるロービジョンケアの過去、現在、未来」 講師：築島 謙次
- ◆シンポジウムⅠ～Ⅳ
「視覚障害乳幼児の発達と支援」
「地域で働く視覚障害者生活訓練指導員の現状と課題」
「白杖および白杖を用いたモビリティ技術の今昔」
「徹底検証！視覚補助具」
- ◆ワークショップ
「特別支援学校への制度改革はチャンスかピンチか？」
-特別支援教育を地域でのロービジョン・ケアのチャンスに転じるには！-

第9回



大音 清香先生

第24回日本眼科看護研究会と合同開催。多職種が連携し、それぞれの領域を尊重しながらロービジョンケアを探求することを目的とし、テーマを「ロービジョンケアに携わる職種の連携-専門的視点を尊重することと協働すること-」とした。



2008年9月19日～21日 開催都市：東京都

- ◆特別講演
「気づきと生きる力」 講師：柳田 邦男
- ◆シンポジウム1
「就労～視覚障害者の就労継続とロービジョンケアの役割～」
- ◆シンポジウム2
「ロービジョン者の運転免許取得・更新について考える」
- ◆シンポジウム3
「眼科医と患者 医師が学んだこと、患者が学んだこと」
- ◆シンポジウム4
「眼科クリニックの開設・改装におけるユニバーサルデザインの重要性」

第10回



永井 春彦先生

7年ぶりに日本ロービジョン学会単独開催。多分野の連携・共同による研究活動を前提とし、常にロービジョン者・視覚障害者と共にある学会でありたいとの思いから、テーマを「共に究め、共に拓く」とした。



2009年7月18日・19日 開催都市：札幌市

- ◆特別講演Ⅰ
「日本ロービジョン学会10年の歩みと展望」 講師：田淵 昭雄
- ◆特別講演Ⅱ
「命の輝きをつたえる～旭山動物園の試み」 講師：菅野 浩
- ◆シンポジウムⅠ
「日本福祉のまちづくり学会合同企画 ユニバーサルデザインからユニバーサルサービスへ」
- ◆シンポジウムⅡ
「医療崩壊の中でのロービジョンケアの近未来を考える」
- ◆ワークショップ
「PRLをきわめよう =偏心視の臨床=」

日本ロービジョン学会学術総会 20times memorial

2010年

2011年

2012年

2013年

2014年

第11回

第12回

第13回

第14回

第15回

第11回



田内 雅規先生

ロービジョン者のケアの発展という「夢」を持ってスタートした本学会が今後は「創造」へと更なる発展を遂げ、ロービジョン者の明るい未来を築くという意味を込め、テーマを「夢から創造へ」とした。



2010年10月22日～24日 開催都市：岡山市

- ◆特別講演
「ロービジョンケアに役立つ精神療法の基礎知識」 講師：気賀沢 一輝
- ◆シンポジウムⅠ・Ⅱ
「羞明を知り 対策を考える-遮光眼鏡を中心に-」
「夢を語ろう」
- ◆ワークショップⅠ～Ⅲ
「ロービジョンケアを始めよう 広めよう」
「視覚障害者の教育と就労」
「誰にでもあるオリエンテーションとモビリティ (OM)」

第12回



氏間 和仁先生

「今を生きている」ロービジョンの人々のケアに、今日から役立つ知識や技能をそれぞれの立場で探ることが、これから10年の礎になると考え、テーマを「今、生きる今、学ぶ」とした。



2011年6月3日～5日 開催都市：北九州市

- ◆特別講演
「視知覚の発達と視覚障害」 講師：山口 真美
- ◆招待講演1・2
「韓国の視覚障害教育と医療制度」 講師：李 宇寛
「台湾の視覚障害児の教育と医療制度-ロービジョンケアを中心に-」 講師：賀 夏梅
- ◆教育講演
「ロービジョンとユニバーサルデザイン」 講師：張 彦芳
- ◆シンポジウム1・2
「弱視レンズに関する医療・教育・福祉の取組と連携」
「ロービジョンの診療報酬について」

第13回



郷家 和子先生

ロービジョンの方々のQOLを高め、社会生活を円滑に再構築できるように支援するには各専門分野に関する最新の知識や技術の共有化が重要と考え、テーマを「ロービジョンケアの最前線～より良き明日に向けて～」とした。



2012年10月6日・7日 開催都市：東京都

- ◆特別講演1
「人工網膜と視覚リハビリテーション」 講師：不二門 尚
- ◆特別講演2
「網膜再生による視機能回復とロービジョンケア」 講師：高橋 政代
- ◆教育講演1
「日本発、“共用品”世界へ」 講師：星川 安之
- ◆教育講演2
「障害者福祉施策の動向」 講師：坂本 洋一
- ◆シンポジウム
「東日本大震災とロービジョンケア」

第14回



田淵 昭雄先生

視覚障害者が晴眼者と共に文化を楽しむことによって、より豊かな生活や人生を送るための学術を深めたいと考え、テーマを「QOLと文化」とした。文化教室、ロービジョン研修会、市民公開講座も開催。



2013年10月11日～13日 開催都市：倉敷市

- ◆特別講演
「Electronic Subretinal Implants: Technical Developments and Clinical Outcomes (人工網膜の網膜下電極移植：技術進歩と臨床成果)」 講師：Eberhar O Zirenner
- ◆教育講演
「視覚障害者と睡眠」 講師：保野 孝弘
- ◆シンポジウムⅠ・Ⅱ
「触って学ぶ、触って楽しむ-ロービジョン者にとって『触覚文化』の意義とは何か-」
「サブスペシャリティからのロービジョンケアの展望」
- ◆ワークショップ
「日本ロービジョン学会は災害調査対応として何をすべきか」

第15回



江口 万祐子先生

さまざまな問題からロービジョンケアを受けられていない患者が大勢いるであろう現状を少しでも改善したい！という思いから、テーマを「広げよう！ロービジョンの輪」とした。第1回日本ロービジョン学会学術奨励賞記念講演を行った。



2014年11月1日～3日 開催都市：さいたま市

- ◆特別講演
「これからのロービジョンケア～20年の軌跡から～」 講師：高橋 広
- ◆教育講演
「眼科における在宅医療・介護について～今 私達は何をすべきか～」 講師：日比野 久美子
- ◆シンポジウム1
「医療：次世代を育てる」
- ◆シンポジウム2
「地域で働く視覚リハ専門家の現状から見えてくること-医療と福祉も連携は相互理解から-」

日本ロービジョン学会学術総会 20times memorial

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

第16回

第17回

第18回

第19回

第20回

第16回



加藤 聡先生

ロービジョンケアの分野におけるScienceに富んだ研究の糸口を多くの人につかんで欲しいと考え、テーマを「ロービジョンケアにおけるScience」とした。



2015年11月21日～23日 開催都市：東京都

- ◆招待講演
「外斜位－私の場合」 講師：北山 修
- ◆特別講演1・2
「読書評価とMNREAD-Jに関する最近の研究」 講師：小田 浩一
「眼科治療の進歩とロービジョンケア～患者さんから学んだこと～」 講師：安藤 伸朗
- ◆教育講演
「人工網膜の視覚リハビリテーション」 講師：不二門 尚
- ◆シンポジウム・ワークショップ
「視覚障害者の就労-産業医の役割-」
「拡大鏡、拡大読書器、iPadの機能特性比較」

第17回



石井 雅子先生

時代の進展とともに多様化する一人ひとりのQOLを、視覚に焦点を当て、QOLとQOV（視覚の質）を重ね合わせたQOVLを高めることを目的とし、テーマを「目指せ！QOVLサポーター～Best Quality of Visual Life～」とした。



2016年8月26日～28日 開催都市：新潟市

- ◆特別講演
「視覚障害とロービジョンケアの近未来」 講師：高野 繁
- ◆教育講演 I・II
「ロービジョン関係者に伝えたい障害者差別解消法の意義」 講師：竹下 義樹
「見えないものが見える-Charles Bonne症候群を含めて-」 講師：若倉 雅登
- ◆シンポジウム
「発達障害の子どもの見え方を理解する」
- ◆ワークショップ1・2
「必見！視覚補助具の使い方」
「ロービジョン外来を作ろう！」

第18回



川瀬 和秀先生

ロービジョンケアの最近のICT技術進歩は著しく、技術革新はロービジョン者を含む視覚障害者に望まれているため、最新情報の共有が重要だと考え、テーマを「次世代のロービジョンケア」とした。



2017年5月20日・21日 開催都市：岐阜市

- ◆特別講演
「我が国初の眼科リハビリテーションクリニック」 講師：村上 晶
- ◆教育講演
「岐阜県のロービジョンケアの取り組み」 講師：池谷 尚剛
- ◆シンポジウム1
「次世代のビジョンケア研究」
- ◆シンポジウム2
「次世代の補助具」
- ◆ワークショップ
「視覚障害と災害対策」

第19回



石子 智士先生

視覚障害者のケアに携わるさまざまな職種のつながりなど、人と人、知識と知識のつながり、そして、過去の叡智を学び未来への創造へとつないでいきたいという想いを込め、テーマを「つなぐ」とした。



2018年6月15日・16日 開催都市：旭川市

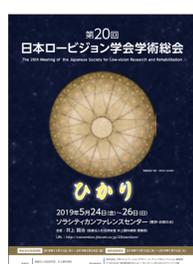
- ◆特別講演1
「遠隔医療」 講師：吉田 晃敏
- ◆特別講演2
「網膜の再生医療」 講師：万代 道子
- ◆教育講演
「耳で見る 手で読む 頭で歩く ～盲児への指導～」 講師：鈴木 重男
- ◆シンポジウム
「視覚障害者のホームでの転落事故を防ぐ」
- ◆ワークショップ
「徹底討論・ロービジョン連携推進プロジェクト」

第20回



井上 賢治先生

一筋の光を求めてケアの探求や、これからケアを突き進めて行く方向性を示す光、ロービジョンの方とともにひかり輝く未来を目指すなどの意味を込めて、ロービジョンケアの原点とも云える「ひかり」をテーマとした。



2019年5月24日～26日 開催都市：東京都

- ◆特別記念講演
「日本ロービジョン学会20周年を迎えて」 講師：加藤 聡
- ◆特別講演
「スポーツが変わる。未来を創る。」 講師：鈴木 大地
- ◆教育講演
「我が国の視覚リハビリテーションにおいて活躍した眼科医の歴史」 講師：安藤 伸朗
- ◆招待講演
「光」 講師：平塚 千穂子、田中 正子、鶴岡 三恵子
- ◆シンポジウム1・2、ワークショップ
「近未来のVisual Science」「盲・弱視教育の現状と課題」「ユニバーサルデザインと情報」

日本ロービジョン学会学術総会

2000

20 times memorial

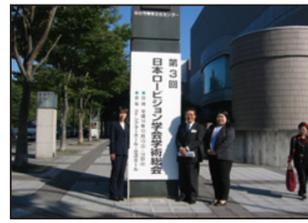
2019



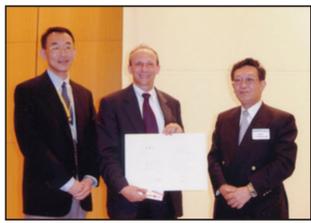
第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



第6回



第7回



第8回



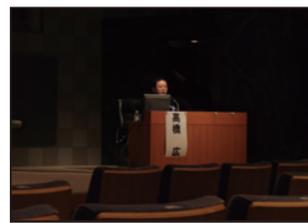
第9回



第10回



第11回



第12回



第13回



第14回



第15回



第16回



第17回



第18回



第19回

